

小学校・第6学年 総合的な学習の時間

交通

1 単元名 「自転車に乗ることの危険性と責任」

2 目標

II-2 自転車の安全な利用と点検・整備

自転車の安全な利用・点検や整備について理解を深め、交通法規を守って安全な乗車ができるようにする。

3 児童の実態

本校では、中学年児童を対象に、自転車免許取得のための実技テスト及びペーパーテストを実施している。第6学年の児童は既に取得している。また、毎年度、近隣の警察署と連携して、自転車安全運転講習を行い、児童の交通安全の意識を高めている。このような積み重ねにより、現在のところ大きな交通事故などは起こっていない。

しかし、放課後等において、スピードの出し過ぎや交差点での飛び出し等の情報が少なからず入ってくる。実際の場面では、自転車に乗ることの危険性や責任等、学習したことが生かされていない。そこで、児童自身が課題を設定し、自ら追究していくことを通して、現在の自身の自転車の乗り方を見直し、今後の自転車の乗り方に生かそうとする意識をもたせる必要がある。

4 本単元と「日常的な安全指導」「定期的な安全指導」「特設する安全学習」との関連

(1) 「日常的な安全指導」との関連

朝や帰りの会等の機会を捉えて、新聞やニュースを活用し、具体的な交通事故事例を基に、その問題点や改善点を考えさせる指導を行っている。

(2) 「定期的な安全指導」との関連

学校安全計画（年間指導計画）に、交通安全教室等、自転車の安全に関する学習を設定し、関係機関と連携した指導を行っている。

(3) 「特設する安全学習」との関連

第4学年で交通安全、第5学年で生活安全を中心として、特設する安全学習の機会を設定し、指導を行ってきた。これらの学習により、児童は校区内の交通量や危険箇所、危険を予測し回避するための行動について考えている。

5 目標に迫るための指導方法の工夫

- 交通ルールやマナーに関する指導にとどまらず、児童が具体的な事例を基に、問題点・改善点を調べ、発表する学習を設定する。このような学習過程を通して、主体的に学習に関わり、自分の事として安全な自転車の乗り方を意識するようになると考える。
- 新聞やインターネットの情報を活用して実際にあった事例を調べる活動を取り入れる。身近でも起こり得ることを実感させ、地域の危険箇所などを振り返らせるきっかけとする。

6 指導計画（7時間扱い）

| 時間 | 主な学習活動 | 安全教育の視点に立った留意点 |
|---------------------|--|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ○自身の交通安全について、自分が追究する課題を設定する。 ○同じような問題を調べようとしている児童同士でグループを組み、学習計画を立てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎自転車事故の事例を示し、その問題点を考えさせる。また、自転車に関する法律についても触れるようにする。 |
| 2 ～ 5 | <ul style="list-style-type: none"> ○学習計画を基に、調べたり模造紙にまとめたりする。 ○全体発表に向けて、発表の準備を進める。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎パンフレットやインターネット、新聞記事などを活用し、正しい情報を調べさせるようにする。 |
| 6 ～ 7 (本時) | <ul style="list-style-type: none"> ○全体の前で発表する。 ○発表から、自分の自転車の乗り方を振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎発表内容で重要なポイントをメモすることで、自分の自転車の乗り方を振り返らせる。 |

7 本時の展開（第6・7時／7時間）

（1）ねらい

自転車が関係する交通事故事例を基に、問題点や危険を回避する方法等について話し合うことを通して、安全な自転車の乗車に必要なことは何かを考える。【Ⅱ－2－①②③】

（2）指導の実際

| | ○主な学習活動 | ◎支援・留意点 ■評価（評価方法） |
|-----|--|---|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none"> ○本時のねらいを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・発表内容から、自分の自転車の乗り方を振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎チェックシートで、自分の自転車の乗り方を振り返らせる。 |
| 展開 | <ul style="list-style-type: none"> ○グループごとに発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・事例紹介 ・事例の問題点 ・危険を回避する方法、提案 ○講師の先生から講評をいただく。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎発表を聞いている児童は、ワークシートに発表内容をメモするように指導する。 ◎講師として、近隣の都立高等学校教員を招聘し、地域の子供をともに育むという立場から、指導助言をしていただく。 ◎講評についてもメモをするよう指導する。 |
| まとめ | ○発表と講評を聞いて考えたことを踏まえ安全な運転のために、今後、自分自身が気を付けることは何かを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ■日頃の自転車の乗り方を振り返り、安全な運転のために自分が気を付けなければならないことについて記述している。 (ワークシート) |

（3）評価

安全な自転車の乗り方について、自分の考えをもつことができたか。